

安全データシート

作成:1998年 7月16日

改訂:2023年11月28日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH008-09
製品名 : クリアターン細粒剤F
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時~午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

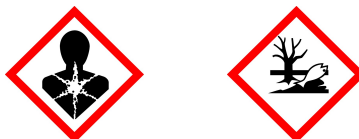
健康に対する有害性
生殖細胞変異原性 : 区分2
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)

環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれ
- ・臓器(神経系)の障害のおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)の障害
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

・漏出物を回収すること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

S-(4-クロロベンジル)-N,N-ジエチルチオカーバメート／一般名：チオベンカルブ

N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン／一般名：ペンディメタリン

3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素／一般名：リニュロン

成分及び含有量：	チオベンカルブ	8.0%
	ペンディメタリン	0.8%
	リニュロン	1.2%
<その他>	結晶質シリカ(石英)	66.0%
	鉱物質細粒 等	24.0%

化学式： C₁₂H₁₆ClNOS／チオベンカルブ

C₁₃H₁₉N₃O₄／ペンディメタリン

C₉H₁₀Cl₂N₂O₂／リニュロン

官報公示整理番号：	安衛法	4-(6)-73	チオベンカルブ
		4-(12)-561	ペンディメタリン
		4-(13)-44	リニュロン
	化審法	1-548	結晶質シリカ(石英)

CAS No.:	28249-77-6	／チオベンカルブ
	40487-42-1	／ペンディメタリン
	330-55-2	／リニュロン
	14808-60-7	／結晶質シリカ(石英)

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

リニュロンの皮膚症状には、抗炎症剤の投与が有効である。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場合に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

リニュロンの中毒症状には、胃洗浄、メヘモグロビンの防止にはアスコルビン酸の投与、又は、1%メチレンブルー溶液の静注が有効である。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

適切な消火剤:水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

使ってはならない消火剤:特になし

消火活動上の注意:燃焼又は高温により有毒なガス(塩素化合物、硫黄酸化物等)が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意:取り扱いには換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。

火災・爆発の防止:通常の使用方法で問題無し。

保管上の注意:直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:設定されていない。

許容濃度:吸入性結晶質シリカ 0.03mg/m³ 日本産業衛生学会(2022年度版)

結晶質シリカ TLV-TWA値はACGIH(2010年版)にも公開されている

設備対策:取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設ける。

保護具 呼吸用保護具:防じんマスク

例) JIS T 8151に適合する防塵マスク等

保護手袋:保護手袋(ゴム手袋)

例)JIS T 8116 に適合する化学防護手袋

保護眼鏡:保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

例) JIS T 8147 に適合するスペクタクル型・ゴーグル型の保護眼鏡

保護衣:作業着、帽子、保護服

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 黄色細粒及び微粒
臭い	: データなし
pH (10倍希釈液)	: 8.2(参考値)
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.29(参考値)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀	5,000 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀	2,000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:ミスト)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: データなし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし	
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: 復帰突然変異試験 陰性	(チオベンカルブ)
	染色体異常試験 陽性	(チオベンカルブ)
	哺乳類細胞突然変異試験 陽性	(チオベンカルブ)
	小核試験 陽性	(チオベンカルブ)
	優性致死試験 陰性	(チオベンカルブ)
	DNA修復試験 陰性	(チオベンカルブ)
発がん性	: 結晶質シリカが区分1Aに分類されることから区分1Aとした。	
生殖毒性	: 結晶質シリカが分類できないため分類できないとした。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 神経系(チオベンカルブ)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 結晶質シリカとして、区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)	
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	17.3 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	24 mg/l (48時間)
藻類	: EC ₅₀	0.58 mg/l (72時間)
残留性/分解性	: 土壌中半減期:水田圃場 7~163日 (チオベンカルブ)	
	土壌中半減期:畑地圃場 2~20日 (チオベンカルブ)	
	BODによる分解度 = 0%	(リニュロン)
生体蓄積性	: BCF = 魚類93/貝類2908 (チオベンカルブ)	
	BCF = 23 (リニュロン)	
土壌中の移動性	: Koc = 1176~2016(チオベンカルブのデータ)(チオベンカルブ)	
オゾン層への有害性	: データなし	
その他	: 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。 除草剤であり、植物に影響がある。	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ秤量し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
排水基準:チオベンカルブ 0.2mg/l

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)
国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第18859号
毒物劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
労働安全衛生法 : 施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質):結晶質シリカ(石英)
(政令番号165-2)
施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質):リニュロン
(2024年4月1日施行)
施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質):ペンディメタリン
(2025年4月1日以降)
施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質):チオベンカルブ
(2026年4月1日以降)
がん原性物質(安衛則577条の2)(作業記録等の30年間保存対象物質):
結晶質シリカ(石英)
粉塵障害防止規則
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定化学物質 チオベンカルブ (管理番号147)
第一種指定化学物質 ペンディメタリン (管理番号49)
第一種指定化学物質 リニュロン (管理番号174)
水質汚濁防止法 : 第2条第4項(指定物質):チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(施行令第2条第21号)
土壤汚染対策法 : 第3種特定有害物質:チオベンカルブ(ベンチオカーブ)(施行令第1条第6号)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物 チオベンカルブ

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の手続きを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。